

**組合に相談しよう**  
 不払い相談、融資・税金相談、教育資金、サラ金、生活保護、社保未加入問題…  
**練馬支部 03-3825-5522**

# けんせつ北部

定価三十円

購読料は組合費に含まれています。

発行所  
 東京土建一般労働組合  
 城北ブロック会議  
 東京都豊島区西池袋5-22-15  
 板橋 (3963) 5325  
 ※練馬 (3825) 5522  
 豊島 (3986) 2471  
 北 (3902) 7121  
 発行人 代表者 川合 正人  
 発行日1日、9日、17日、25日

## こんにちはは東京土建です

第47回  
住宅デー

### 地域住民と触れ合えた 秋の1日



包丁研ぎに打ち込む貫井分会の仲間



大勢の親子連れが訪れた富士見台分会



アルミ板工作が人気を集めた高松分会

クイズをはじめ、さまざまな防災企画を取り入れた谷原台分会



休憩中に親睦を深める田柄分会の仲間



「名物の、焼き鳥を準備する旭町光が丘分会の仲間

## 包丁研ぎ、住宅相談、屋台…多彩な企画

地域住民に東京土建を身近に感じてもらえた1日。第47回住宅デーが11月10日に練馬支部会館をはじめ、区内27会場で行われました。これまで続いていた季節外れの暑さが一変し、急激に冷え込んだ上、開催直前まで小雨がぱらつきましたが、各分会が工夫を凝らしながら準備を進めたことでピンチをチャンスに。仲間や家族、そして地域住民と交流を深められました。11月の分会紙は住宅デーの話題一色。その記事と写真を一部紹介します。

#### 春日分会

#### 「かすが」

11月10日の朝は曇り空、去年と同じ様な天気でしたが、途中陽がさす事もあり何とか天気も悪くありません。事前準備で怪我人が出たりとかいろいろありましたが、無事に売れ残る事もなくやりきりました。

今回の反省点は包丁研ぎで包丁を運ぶ人が必要だったと言う事です。屋台の方は急遽来れなかった人がいてイレギュラーな事もありましたが、臨機応変にカバーし合い成

功したと思います。来年の住宅デーは分会でも5月頃から少しずつ運営の事を話し合い一人でも多くの人が手伝いに来て貰えれば良いと思います。

#### 上石神井分会

#### 「あけぼの」

11月10日(日)分会住宅相談。石神井消防署、

分会の出し物は包丁研ぎ、子供工作教室、バザール、豚汁、クレープ、住宅相談。石神井消防署、

ンターのすぐそば、上石神井でもあり、来られたお客さんは少なかつたものの、住宅相談を除いて、充実した住宅デーでした。残念なのは、来られたのがほぼ周辺の方に限られていたこと、参加組合員が少なく、参加された組合員がうまく楽しめなかったこと、でした。次回は広報の改善と皆さんの協力をお願いします。

#### 新大泉分会

#### 「新大泉分会 ニュース」

11月10日午前10時から大泉町5丁目くればし公園で住宅デーを開催しました。当日は曇り空で肌寒い1日でした。各企画では組合員、家族が協力。来場者には親切に対応し、会話も弾み会場を盛り上げていました。

防災企画のブースでは段ボールを2箱使って作る簡易トイレを通りがかかりに見ていた方が「どうやって作るのか教えてほしい」と会場に入り説明を聞いていただきました。実演で作り座って見て座面が柔らかいのと強度を確かめて「これなら安心です」と言っていただき「早速段ボールを2箱用意します」と言って帰られました。防災企画の意義が伝わって良かったです。

#### ねほ大根



オールドメディア。今年の東京都知事選(7月)や衆院選(10月)、米大統領選、兵庫県知事選(11月)で新聞やテレビなどの既存メディアがここの隅々まで届かなくなっている。元聞屋のコラム書きは心中穏やかでない。そこまで信用されていないのか▼自問自答を繰り返しながらたどり着いたのが横浜市。ニュースパーク(日本新聞博物館)に飛び込んだ。国内初の日刊邦字紙「横浜毎日新聞」が創刊されたのは明治3年。以来、150年以上にわたって記者は事実を取材し、筆を走らせて紙面に反映させてきた。時には権力者の圧力に屈し、真実をねじ曲げられたことも。どうやって正しい情報を分かりやすく伝えるか。昔も今も悩みの種は変わらない▼速報性で交流サイト(SNS)にはかなわない。ただ事実を咀嚼しきれず、言い放しになっていないか。「情」のこもったことを「報」じるから情報だ。編集長の怒鳴り声かふとよみがえってきた▼相手を思う気持ちがなくならない限り、新聞は不滅だ。それは練馬支部の各分会紙が如実に示している。来たる年も1字1字に心を込めよう。(今)

# よく遊び、よく学べ

# 仲間の輪が 広がる行事 目白押し



## 支部の組合員が講師 終始真剣なまなざし

フルハーネス特別教育講習会



組合員講師の指導を受けながらフルハーネスの装着手順を学ぶ参加者

「便利な休日・地元開催」と打ち出したフルハーネス特別教育の講習会が11月17日に練馬支部会

館で行われ、11人が受講。前年とはかなわなかった支部の組合員講師(大泉東分会の金井茂雄さん、田柄分会の和嶋英人さん)が運営を担い、法改正からフルハーネスの基礎知識、使用、保管方法までを動画解説や実習を交えて取り組みました。さまざまなプログラムを1日でこなすことから参加者は終始、真剣なまなざし。講師の金井さんは「学習内容をしっかり実践し、家族のためにも安全を最優先に」と訴えています。



支部シニア友の会

## 5年ぶりの1泊交流会 初冬の信濃路を散策

練馬支部シニア友の会は11月24〜25日、長野県で1泊交流会を開き、会員26人が参加しました。宿泊を伴う交流活動は実に5年ぶり。旅行中にトラブルはなく、初冬の信州を満喫していました。

長野市では山門と経蔵が国の重要文化財に指定されている善光寺を参拝したほか、太平洋戦争末期に本土決戦に備えて皇懷古園で集合写真に収まる参加者。小諸市の懷古園では「日本100名城」に選ばれた小諸城の歴史に触れつつ園内を散策。また江戸時代の元禄期に創業した佐久市の橋倉酒造では、300年以上続く技法で造られた日本酒に舌鼓を打ちました。

支部女性の会

## 観劇とランチで親睦 "不朽の名作"に感涙



幅広い世代が一堂に会した交流会

練馬支部女性の会は11月24日、千葉県浦安市で定例会「劇団四季『美女と野獣』観劇&食事交流」を開催。48人が集まりました。同作はDisneyニアニア不朽の名作として知られ、劇団では1995年の初演以来、屈指の人気を誇っています。当日も完成度の高いステージを披露し、観客を魅了。「途中で感動のあまり涙が出ました」参加者もいました。これに先立ち、昼食を取りながら交流を深めました。ピュッフェ形式で提供され、「東日本フェア」も開いていたことで各地のおいしい料理が「登場」。限られた時間だったものの、「来年も絶対に行きたい」と感想も寄せられて満足感たっぷりでした。

## 生死分ける初期救命 労災防止策の一助に

普通救命講習兼安全衛生大会



練馬支部労働対策部と支部の自主防災組織「チームNANA」は11月24日、練馬支部会館で普通救命講習を兼ねた安全衛生大会を開き、18人が参加。座学にとどまらず、自動体外式除細動器(AED)使用を含む心肺蘇生法の実習を受ける参加者。東京防災救急協会の講師は「救命を行う、行わないによって救命率に大きな差が生じ、また社会復帰できるまでの期間にも差が出る」と、初期救命の重要性を説明。さらに現在救急車到着までに119番通報が滞りがちな状況も伝えました。一方、建設業労働災害防止協会の講師は今も現場で働きながら、安全





2060人の仲間が詰め掛けた日比谷公園大音楽堂

# 「物価高から仕事と暮らしを守れ」

## 小雨降る寒い中練馬の仲間47人奮闘

「建設国保育成・強化」「賃金・単価大幅引上げ」を求め、11月21日に対都要求行動と予算要求中央総決起大会が行われ、練馬支部の仲間47人が参加しました。

午前中は都庁第2本庁舎前に東京土建を含む全国建設労働組合総連合(全建総連)東京都連合会を中心に956人が集結。「2025年度予算要求、仕事と就労確保、諸要求実現、建設国保組合への現行水準予算確保」を目標とし、財務、保健医療、都市整備、環境、産業労働、主税の都庁内各部署と、都議会各会派へ交渉団を送り、その後集会を行いました。午後は日比谷公園大音楽堂に移り、小雨が降る寒い中を全国各地から駆け付けた仲間(2060

### 対都要求請行動、予算要求中央総決起大会

銀座周辺を練り歩く練馬支部の仲間



人)とともにメインスピーカーカン「物価高騰から仕事と暮らしを守れ!」の下、要求実現に向けて声を上げました。厚生労働、国土交通などの省庁交渉団の代表による決意表明や基調報告で私たちの仕事と暮らしを取り巻く課題を共有。同公園から銀座を経て、東京駅鍛冶橋

駐車場までのデモ行進(約2km)は建設国保や賃金に加え、「建設技術者の育成を促せ」「大衆増進」を掲げ、「アスベスト被害者の補償を拡充しろ」「公契約法をつ

「被災者支援を強化しろ」「インボイス(制度)を見直せ」「大衆増進」を掲げ、「アスベスト被害者の補償を拡充しろ」「公契約法をつ

## 脅かされる首都の空、陸… “事故機”飛来、PFAS汚染

### オスプレイはいらない東京大集会

「横田基地にオスプレイはいらない東京大集会」が11月24日に福生市の多摩川中央公園で行われ、約600人(主催者発表)が集結。練馬支部発がん性を指摘している憲法平和対策部のメンバー2人も加わりました。輸送機のオスプレイを巡っては、2023年11月に米軍横田基地所属の機体が鹿児島県の屋久島沖で墜落。ところが、事故原因が究明されないまま米軍は飛行を再開し、日本政府も追認しています。集会でもその危険性を不安に、安全な市民生活を置き去りにした政府の姿勢を糾弾する声が続きました。参加した地元住民は「私たちの取り組みをあざ笑うかのよう



プラカードを掲げながらシュプレヒコールを上げる参加者



集会ではPFASをはじめ、区内の諸課題を学び合った

### 区民要求実現練馬集会

PFASの問題は11月25日に区立練馬文化センターで行われた「区民要求実現練馬集会」でも大きく取り上げられまし

た。練馬支部の仲間12人の安全・監視市民委員会

PFASが日本国内で注目を集めたのは、米軍や自衛隊の基地周辺で漏出した泡消火剤。高濃度のPFASが含まれていることから植田さんは「火災時のほか訓練時や事故でも放出されたら、水に溶けやすいため周辺の土壌や河川、地下水などの環境汚染を引き起こす」と指摘。ただ泡消火剤に限らず、テフロン加工のフライパンや防水服、食品包装用の耐油紙などにも使われており、身近な化学物質だが、発がん性が疑われることで

## 今年も回収率100%超

### 現行水準確保の見通し 25年度都費補助金

10月11月の2カ月にわたって取り組んできた財務省への予算要求はがき要請行動は61万75シートを集め、目標(6054シート)を超過。これにより2024年度も前年度に続き、6月7月の厚生労働省、8月9月の東京都、そして財務省といずれも回収率が100%を上回りました。この間、各分会では役員が仲間や家族に行動の意義を訴えながら、はがきの記入、提出を求めました。このうち土支田分会は回収率が100%を超え、目標を大幅に超えています。11月21日の対都要求行動で都の担当者は、国保組合への25年度都費補助金として総額45億3000万円を財務局へ要求したと報告。現行水準を確保できず、この補助金を含む「16条」を保障し、一む当初予算案は今後、年明けの知事査定を経て、都議会定例会で審議。3月中に成立する資格確認書もマイナ保険証同様力を入れて

# 今の保険証 捨てないで

(来年3月まで有効)

マイナカード

## 不安、混乱続くマイナ保険証

# ひも付け 解除申請は「紙」



現行の健康保険証の新規発行が12月2日に終了しました。マイナンバーカードと保険証をひも付けた「マイナ保険証」は直近(10月)の利用率が15・67%(厚生労働省発表)。JNNが11月30日から12月1日までの2日間に行った世論調査によれば、「マイナ保険証への切り替えに不安を感じた」との回答が59%に上りました。12月2日以降、練馬支部事務所に保険証を巡る問い合わせが相次いでいます。

まず押さえておきたいのが、今持っている保険証は東京土建国保の場合、2025年3月末まで有効。絶対に捨てないでください。

また国が進めた「マイナポイント」キャンペーンなどでマイナカードを作り、保険証の情報とひも付けたもの

の、それを見直したい場合。東京土建国保でも登録の解除を受け付けています。申請書はホームページ(QRコード)からダウンロードできるほか、支部事務所でも配布しているのに、「紙」を使って意思表示させる。この政策のずさんさを物語っています。



マイナ保険証 (マイナンバーカードと健康保険証をひも付け)	メッセージ
持っていない仲間へ	マイナカードを作らなくても「資格確認書」が保険証代わり
持っている仲間へ	不安なら保険証とのひも付けを解除できます。受付は支部で

分会紙等  
コンクール

### 最高賞

## 「特選紙」に6紙

### 練馬の質の高さ見せつけ

東京土建本部主催「2024年度分会・青年・主婦・シニア機関紙コンクール」の各賞が決定。最高賞の「特選紙」は19紙、このうち練馬支部は6紙が選ばれ、全支部の中で最多を誇ります。練馬支部の分会紙のクオリティの高さを見せつけ、上原誠本部教育宣伝部長

賞名	分会名など	新聞名
特選紙	春日	かすが
	高松	たかまつ
	学園	桜並木
	石神井台	わかば
	新豊玉	新とよたま
	早宮・女性の会	けやき
入選紙	桜台	みちくさ
	旭町光が丘	はなみずき
	高松・女性の会	あおぞら



「特選紙」に選ばれた機関紙の1面

(早宮分会)の入念な審査により選定。入選紙(15紙)は11月10日の通信員総会で各支部から出席した通信員ら計39人による投票で決まりました。

## 新人書記紹介

### 山内 雅賀 書記



11月26日から練馬支部

に異動した山内雅賀です。2002年板橋で書記局に入り、本部で5年組織部と人事部で活動してきました。組織部では全支部の主任書記や担当書記と活動状況などを話したり、多くの支部への

訪問行動などを経験してきました。人事部(7カ月)では、新人書記研修や新任書記、副主任書記研修の準備などを行っていました。

板橋支部に在職していた時には、同じブロックでしたので、練馬支部の仲間の皆さんとも交流があったことを覚えていました。

## 国の支援ほど遠く 能登半島地震間もなく1年

このような経験も活かないと感じました。東北し、今年11月に本部で石川県輪島市への支援に総勢21人で行ってきました。率直な感想は、1月に起きた震災なのに思以上に復興が進んでい



輪島市内の至る所は震災と豪雨で  
まだがれきが散乱

を越える支援活動を行う、最初は、泥かきや田んぼや畑の瓦礫拾いなどから、徐々に宮城対連とも合同で仮設住宅での住宅や医療相談、焼きそばや豚汁など炊き出しに変更するまで約10年20回変化したところでした。

で重機が入れず、全て手作業での土砂撤去作業でした。土建が入ったボランティアの家も軽自動車が入らな道でした。国の支援が急務だとつくづく感じました。

このような様々な経験をさせていただきました。隣の板橋に長くいましたが、練馬の土地勘はまだありません。早く、仲間の皆さんと知り合いになってセンターも覚えて活動に取り組みたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

## 練馬支部事務所 年末年始のスケジュール

- ・年内の窓口業務は12月27日(金)正午までです。
- ・12月28日(土)から1月5日(日)までは年末年始休業のため、支部事務所を含む支部会館は休館です。
- ・年始は1月6日(月)が午前9時から正午まで。7日(火)から通常業務です。

### 【休業中の24時間対応ダイヤル】

#### ◎自動車共済

関東自動車共済 TEL0120-89-8819

#### ◎自転車保険・総合賠償責任補償・建築士賠償

損害保険ジャパン事故サポートセンター

TEL0120-727-110

#### ◎どけん火災共済・地震共済

共済センター TEL03-3366-7908